

栗林すみれ piano

福盛進也 drums

2025 06月07日(土)

開場 13:00 afternoon live

開演 13:30

(2ステージ入替無)(1drink=600)

MC=3300+2drinks order

CAFE **B**EULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail : info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



栗林すみれ

生田流箏奏者である父の箏を聞いて育つ。2014年行方均氏のプロデュースでサムシンクルレーベルからデビュー。1stアルバムがディスクニュースグランプリ受賞。2018年総勢11名参加のアンサンブル作品をリリース。ジャズライフ誌で表紙を飾る。金澤英明とのユニット「二重奏」を三作リリースし、国内で高い評価を得る。海外での活動もめざましく、ロンドンのホクストンホールでのリーダー公演、南イタリアでのソロコンサート、ドイツではウォルター・ラング、福盛進也とともに老舗クラブウンタファルトのマンスリーピックアップアーティストとして出演、ジュゼッペ・バッシグループでのイタリアでの録音、ツアー、台湾ツアーにも参加。オーストラリアのワンガラッタジャズフェスティバルにニラン・ダシカとのユニットと、自己のセクステットで出演。1番印象だったパフォーマンス (australianbookreview)、フェスティバルのハイライト (サイバーハライド・ジャズ)、2020年ジュゼッペ・バッシとのリモート録音作品がイタリアのベストジャズアルバム100に選ばれる。イタリアのジャズマガジンジャズコンベンションに選ばれ、「日本のジャズシーンの若い世代に属している栗林は、彼女の注目に値する創造的資質と、彼女の質感を交差させる驚くべきストーリーテリングの両方で、ここ数年で最も高く評価されているピアニストの一人です。ヨーロッパのインプロココミュニティ Ciproject に参加。溝口肇のジャズアルバムへの参加や、NHKBS プレミアム『美の壺』でオリジナル曲使用されるなど作曲やアレンジ面の才能も発揮し先人へのよきと堅い音楽性の融合から紡ぎだされるオリジナル曲とインプロヴィゼーションは新たな世界を切り開きながらも心地良く、多くの聴衆の心を掴む。



福盛進也

1984年1月5日、大阪市阿倍野区生まれ。15歳でドラムを始め、17歳の時に芸術高校にて音楽を学ぶために単身で渡米。その後、ブルックヘブンカレッジ、テキサス大学アーリントン校を経て、パークリー音楽大学を卒業。10年間のアメリカでの活動後、2013年に拠点をミュンヘンに移し欧州各国で活動を開始。2018年に自身のトリオで、ドイツの名門レーベル ECM から日本人二人目となるリーダー・アルバム『For 2 Akis』を世界リリース。その後、トリグヴェ・サイム (ts)、ウォルター・ラング (pf) との新たなトリオの他、リー・コニッツ (as)、ミロスラフ・ヴィトウス (b)、フローリアン・ウェーバー (pf)、ソングェ・ソン (ts)、山下洋輔 (pf) など様々なアーティストとの演奏活動を行う。2020年には自身のレーベル nagalu を立ち上げ、参加アーティスト総勢12名のアルバム及びショートフィルム『Another Story』をリリース。翌2021年には第二のレーベル S/N Alliance も設立し、プロデュース業や録音のディレクションにも力を入れている。更には、日韓アーティストを中心としたプロジェクト「EAST MEETS EAST」を発足し、欧州、日本だけに留まらず、アジア全体のジャズの発展に向け新たな風を巻き起こしている。独特で繊細なシンバルワーク、そして空間を自由に生み出し色とりどりに展開する演奏は世界中でも一目を置かれ、また作曲家としても高い評価を得ている。ダイナミクスの幅が広く詩情的なプレイを得意とする。